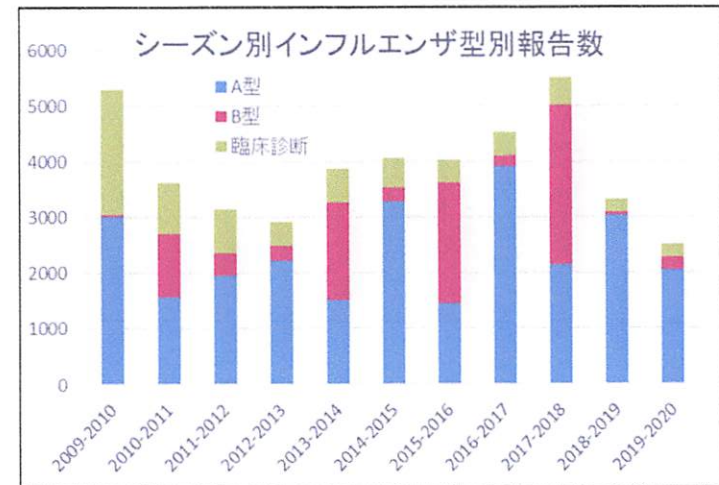
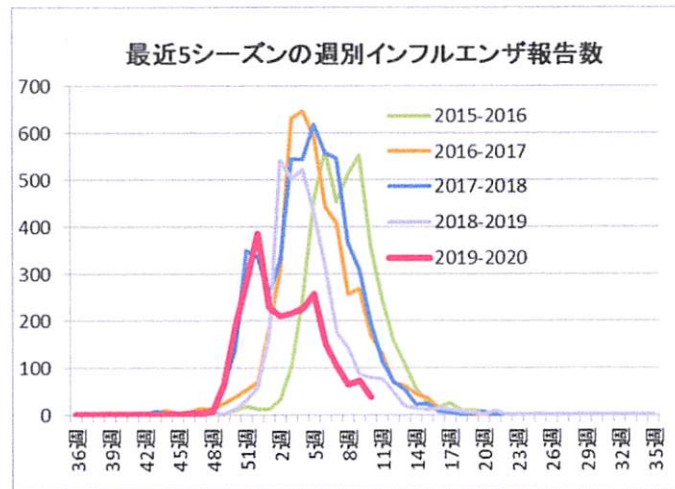


週間感染症情報

2020年10週 2020年3月2日より2020年3月8日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	4
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	15
手足口病	
ヘルパンギーナ	1
伝染性紅斑	0
感染性胃腸炎	18
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	4
ヘルペス性口内炎	1
アデノウイルス感染症	
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	2
ヒトメタニューモウイルス	8
インフルエンザ(臨床診断含む)	38
インフルエンザA	5
インフルエンザB	25

休園・休校になり、小児科はヒマになりました。感染症が減少して、花粉症・喘息の比率が増えています。インフルエンザBが流行していますが、家族で患する例が多く、臨床診断例が増えています。水痘は、市内小学生、岡山市の保育園児です。2回接種例も感染していますが、軽症です。溶連菌感染症は、市内全域で報告があります。典型的な咽頭所見のない症例もみかけます。感染性胃腸炎は少なくなりましたが、輸液の必要例がありました。ヒトメタニューモウイルスは、市内保育園で流行しています。その他、小学生や在宅児の例があり、市内で流行しているようです。サーベイランス目的で、保険適応のない症例にもしています。報告例が増えており、注意が必要です。日本医師会から、インフルエンザ等の検査をする場合は、新型コロナウイルスの感染も考慮して、个人防护具(PPE)(ガウン・マスク・ゴーグル・手袋)を着用するように指導されています。1回ごとに着換える必要があり、着脱には手順があります。当院には準備していません。検査を受けた人が、のちに新型コロナウイルスに感染したと判明した場合は、濃厚接触者として隔離となり診療できなくなります。現在、市内では新型コロナウイルス感染者は限りなく0に近いと思っています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)